

関平だより

平成21年6月号



発行 霧島市営 関平鉱泉販売所

0120-235-524

定休日 第1及び第3火曜日

6月は2日・16日です。

ご 報 告

『第1回霧島市関平鉱泉販売所経営検討会』が開催されました！！

平成21年5月22日（水）霧島市副市長をはじめとする市関係者や、霧島市観光協会や、外部識見者等からなる「第1回霧島市関平鉱泉販売所経営検討会」が開催されました。



第1回目の今日は出席者の皆様に関平鉱泉の「泉源から容器倉庫、製造工場」を視察して頂いて現状確認とさらなる品質及び生産効率の向上や現在の飲用水業界を取り巻く環境問題等の課題に向けて今後関平鉱泉をどのようにしていくべきか等その方向性と今後のあり方について話し合われました。

『日本食品衛生学会学術講演会』へ参加！！

平成21年5月14日（木）銀座ブロッサム（中央会館）で開催された（社）日本食品衛生学会主催の「日本食品衛生学会学術講演会」において「微生物検査技術のバリデーション」と「食品中の微小異物分析技術」について学習して参りました。消費者の食品への「安心・安全」の意識が高まる中、さらに高品質な商品を提供していくように努めて参ります。

ニュースその1

南日本新聞社発行の『わくわくレジャーガイド2009』へお知らせを掲載！！

今年の夏も、たくさんの方へ関平鉱泉水を飲んで健康に夏をのりきって頂こうと、南日本新聞社より発行の鹿児島県内を中心に、南九州の地域のイベント情報や、レジャースポットの紹介など、夏を楽しむ情報満載の『エンジョイサマーわくわくレジャーガイド2009』に関平鉱泉水のお知らせを載せました。

※ 掲載日：平成21年6月26日（金）朝刊（予定）

霧島の歳時記

6月は「水無月」「水が無い月」と書きますが、本来は、「無」は「の」と読むもので「水の月」というのが正説といわれ、水害など注意が必要な月です。梅雨入りの頃、こちらでは一斉に田植えが行われます。毎年、霧島市の霧島神宮では豊作と家内安全を祈願する伝統の祭り「霧島神宮^{さいてん}斎田お田植え祭」が開催され、今年は、6月10日（水）に開催されます。



▲ 神事、神牛と田の神様の農耕劇「田の神舞」

ユーモラスな農耕劇は、思わず笑ってしまうほど愉快です。現在お田植え祭を演じているのは橋本家と児玉家で、演じる事ができるのは特定の家に限られ、他のお田植え祭にはみられないとのこと。

入場料は無料となっていますので是非この機会にご覧になってみてはいかがでしょうか！

※ 問い合わせ先：霧島神宮

☎ 0995-57-0001



▲ 田植え装束の氏子100名と地元の小学生の田植え風景



ニュースその 2

『第5回関西かごしまファンデー』へ関平鉱泉水を提供！！

平成21年5月24日（日）関西鹿児島県人会総連合会の主催による『第5回関西かごしまファンデー』が大阪の京セラドーム大阪で開催されました。



▲ 大阪の京セラドーム大阪の様子
鹿児島の黒豚や、焼酎などその他沢山の特産品が販売されました。

当日は、32,000人もの来場者があり鹿児島のおつま揚げや、黒豚、焼酎など地元の特産品が販売されました。その中で、関平鉱泉水 500mlペットボトルも出展されました。

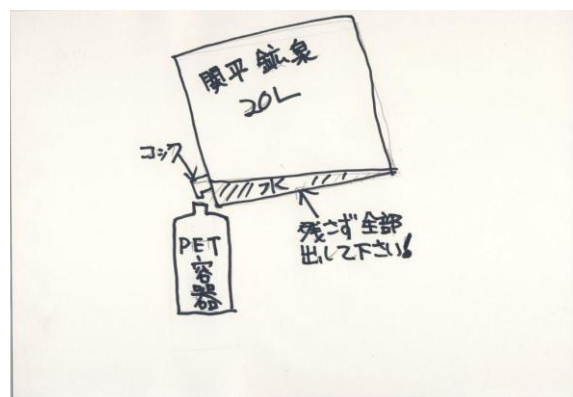


▲ 全国でも有名な「鹿児島黒豚」

飲用について

6月～10月の蒸し暑いこれからの時期は、細菌にとって最も繁殖しやすく食べ物の中などで活発に増殖します。この時期、皆様も食べ物の保管等には十分注意されておられることと思いますが、関平鉱泉水も『生もの』ですので食べ物と同様、空気に触れると風味が悪くなる可能性があります。

鉱泉水の量が少なくなると箱を斜めに傾けないと出にくくなります。その時、水の入っているビニール袋の中に空気が入る恐れがありますので残り少なくなった時は、他の容器（PETボトル等）に全て移し替えてご使用して頂きますようお願い致します。



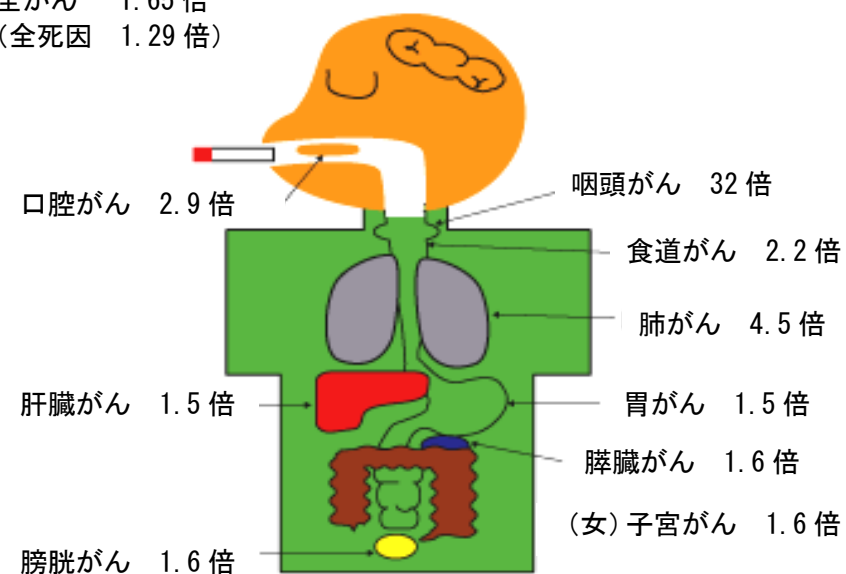
健康知識その 16

がん予防、＜アルコールとタバコ＞

適度のアルコールはストレスを減らし、がん予防にも役立ちますがアルコールの飲み過ぎは胃の粘膜を荒らすなどがんを促進させる要因となります。また、発がん物質を持つタバコと一緒にアルコールを摂取するとタバコの発がん物質をアルコールが吸収しやすくしてしまいます。タバコを吸いながらアルコールを摂取することは避けましょう。
(※ がんと食事HPより)

非喫煙者と比較した喫煙者のがんによる死亡の危険性

全がん 1.65倍
(全死因 1.29倍)



資料：計画調査より

編集者のひとりごと

いま世間を騒がせている新型インフルエンザ。今年の3～4月にかけてメキシコで豚から人間に感染したといわれ、それから瞬く間に感染が広がり、日本の国内感染数は28日現在364人という報道がありました。これだけ連日ニュース等で報道されると、「今後どれだけ広がるのだろうか？また、今年の冬は…」と私も不安になりました。しかし、最近の報道では、ウイルスは弱毒性で健康な人は重症化しないということと通常のインフルエンザの予防法の方がいいやマスクの着用等で良いとのことで一安心しました。新型インフルエンザが流行した場合の感染拡大防止にワクチンの接種も有効な手段の一つとして期待されているそうです。ワクチンは、接種してから実際に効果を発揮するまでに約2週間かかることから流行期間が12～3月ですから11月中旬頃までには接種を終えておくことより効果的だそうです。